

リスク説明書(LION FX 法人のお客様用)対比表

平成 27 年 9 月 7 日

(青字部分は追加、修正箇所)

現 行	変 更 後
リスク説明書(LION FXのお客様用)	リスク説明書(LION FX 法人のお客様用)
<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、個人のお客様の「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」は、最大25倍となっております。</p>	<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、個人法人のお客様の「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」は、最大25200倍となっております。</p>

以下、現行の記載は省略します。

「レバレッジ」と「スプレッドによるロスカット」

(1)「レバレッジ」

①最大レバレッジとは、想定元本から比較して、本取引を行うために最低限必要である必要証拠金で算出した最大の倍率をいいます。なお、最大レバレッジの上限は、200 倍となっております。

<最大レバレッジの算出方法>

「最大レバレッジ」 = 想定元本(為替レート × 取引数量) ÷ 必要証拠金

例) USDJPY の買いレートが 91.230 円のと看、1Lot(1,000 通貨) 買う場合

「想定元本」 = 91,230 円

想定元本 = 為替レート(91.230 円) × 取引数量(1,000 通貨) = 91,230 円

「必要証拠金」 = 470 円

算出期間の終値のうち最も高いレートの想定元本に 0.5% を乗じた金額(10 円未満切り上げ)

	算出期間							適用期間					
	前々週	—	—	前週			—	—	—	—	—	取引日	
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
終値	92.640	—	—	91.690	91.450	91.280	91.340	—	—	—	—	—	取引レート(91.230)

算出期間の終値のうち最も高いレートは前々週金曜日の 92.640 円

92.640 円 × 1Lot(1,000 通貨) × 0.5% = 463.2 円

10 円未満を切り上げて、470 円

「最大レバレッジ」 = 194.11 倍

最大レバレッジ = 想定元本(91,230 円) ÷ 必要証拠金(470 円) = 194.11 倍

②実効レバレッジとは、お客様の口座の有効証拠金からみて、全ての未決済ポジションに対してかかる口座の実効の倍率をいいます。実効レバレッジは、最大 200 倍となっておりますが、取引数量、預託金等により、お客様ご自身で実効レバレッジを調節することができます。

<実効レバレッジの算出方法>

「実効レバレッジ」 = 想定元本 ÷ 有効証拠金

例 1) 次の条件で USDJPY の 91.230 円の買いポジションを 1Lot(1,000 通貨) 保有している場合

・預託金が 500 円

・USDJPY の売りレートが 91.220 円

「想定元本」 = 91,220 円

想定元本 = 91.220 円 × 1,000 通貨 = 91,220 円

「有効証拠金」 = 490 円

評価損益(時価評価) = {売り(評価レート) - 買い(約定価格)} × 1,000 通貨
= (91.220 円 - 91.230 円) × 1,000 通貨
= -10 円

有効証拠金 = 預託金(500 円) + 評価損益(-10 円) = 490 円

「実効レバレッジ」 = 186.16 倍

実効レバレッジ = 想定元本(91,220 円) ÷ 有効証拠金(490 円) = 186.16 倍

例 2) 例 1 の預託金が 1,000 円だった場合

「想定元本」 = 91,220 円

想定元本 = 91.220 円 × 1,000 通貨 = 91,220 円

「有効証拠金」 = 990 円

評価損益(時価評価) = {売り(評価レート) - 買い(約定価格)} × 1,000 通貨
= (91.220 円 - 91.230 円) × 1,000 通貨
= -10 円

有効証拠金 = 預託金(1,000 円) + 評価損益(-10 円) = 990 円

「実効レバレッジ」 = 92.14 倍

実効レバレッジ = 想定元本(91,220 円) ÷ 有効証拠金(990 円) = 92.14 倍

(2) スプレッドによるロスカット

スプレッドとは、売りレートと買いレートの差のことをいい、お客様は買いレートで買い付け、売りレートで売り付けることができ、通常、買いレートは売りレートより高くなります。お客様が買いレートで買い付けた後、ただちに売りレートで時価評価、または、売りレートで売り付けた後、ただちに買いレートで時価評価を行うため、買い付けた直後または売り付けた直後の評価損益(時価評価)はマイナスとなる可能性が高く、有効証拠金の全額を必要証拠金として、ポジションを保有された場合、買い付け直後または売り付け直後にロスカットとなる可能性があります。

<ロスカットの基準>

有効比率が 100% 未満となった時点

有効比率 = 有効証拠金 ÷ 必要証拠金 × 100

例) 次の条件で USDJPY の買いレートが 91.230 円のと看、2Lot(2,000 通貨) 買う場合

・預託金が 940 円

・USDJPY の売りレートが 91.220 円

・1Lot あたりの必要証拠金が 470 円

「必要証拠金」 = 940 円

必要証拠金 = 1Lot あたりの必要証拠金(470 円) × 2Lot(2,000 通貨) = 940 円

「有効証拠金」 = 940 円

保有中のポジションがないため、有効証拠金 = 預託金

「必要証拠金」が「有効証拠金」の範囲内(同額)であるため、2Lot(2,000 通貨)の買い注文が約定

「有効証拠金」 = 920 円

評価損益(時価評価) = {売り(評価レート) - 買い(約定価格)} × 2,000 通貨
= (91.220 円 - 91.230 円) × 2,000 通貨
= -20 円

有効証拠金 = 預託金(940 円) + 評価損益(-20 円) = 920 円

「有効比率」 = 97.87% < 100% → ロスカット

有効比率 = 有効証拠金(920 円) ÷ 必要証拠金(940 円) × 100 = 97.87%

現 行	変 更 後
※法人のお客様につきましては、必要証拠金は定額固定制となっておりますので、必要証拠金一覧表をご確認ください。 最大レバレッジの計算方法は、最大レバレッジ=想定元本÷必要証拠金ですが、必要証拠金が定額固定制のため、為替レート(想定元本)の変動により、最大レバレッジも変動します。	全削除
平成 26 年 5 月 26 日現在	平成 27 年 9 月 7 日現在